

平成 20 年 10 月 8 日

さまよえる美術作品 - シャガールの場合

1 はじめに

- ・さまよえる美術作品 - ラファエロの場合
- ・さまよえる美術館 - トレチャコフ美術館の場合

2 マルク・シャガール (Marc Chagall/1887-1985) について

(1) 現在のベラルーシ、ヴィテブスクのユダヤ系一家の長男として生まれる

(2) さまざまな政局下の社会を体験

- ① 帝政末期のロシア帝国 (現在のサンクト・ペテルブルグ)
- ② 第一次世界大戦直前のフランス・パリ
- ③ 第一次世界大戦
- ④ ロシア革命と初期ソヴィエト・ロシア
- ⑤ ヴァイマル期のドイツ・ベルリン
- ⑥ 両大戦間、及びナチス・ドイツ席卷下のフランス
- ⑦ 第二次世界大戦とアメリカ亡命
- ⑧ 冷戦下のフランス

(3) シャガールの「ヴァリエーション」の問題

- ① ベルリンでの個展開催時の作品の紛失
- ② パリの「ラ・リュシュ (蜂の巣)」に残してきた作品の流出
- ③ 描かれるモチーフの限定化・繰り返し (モチーフの固執)
- ④ 金銭的な問題 (職業画家としての側面)

3 ユダヤ劇場について

(1) 1916 年、ペトログラードで「ユダヤ演劇協会」発足

(2) 1919 年、劇団が地方に移動 (主にヴィテブスク)

(3) 1920 年、ユダヤ劇場がモスタワに移転。チュルヌイシェフスキー通りに面した建物の 2 階に劇場を構える

(ここにシャガールの「ユダヤ劇場」室内装飾が施された)

- (4) 1923年、ユダヤ劇場がマラヤ・ブロンナヤ通りに移転
 - ・当初はシャガールの壁画はそのまま元の位置に設置されていたが、1924年以降に新しい劇場のロビーに移転・展示。その際に緞帳と天井画が失われたか？
- (5) レーニン死去後、スターリン体制の確立
 - ・「社会主義リアリズム」の推進
- (6) 1930年代の「粛清」の時代
 - ・シャガールの壁画が隠される
- (7) 1948年、ユダヤ劇場最後の支配人であったソロモン・ミホエルスが粛清される
- (8) 1949年、ユダヤ劇場の完全閉鎖
- (9) シャガールの壁画がトレチャコフ美術館におさめられる
 - ・公式には、劇場除去委員会が1950年にトレチャコフ美術館に寄贈
 - ・実際には芸術家（アレクサンドル・トゥイシュラー）による持ち出し
- (10) 1973年、シャガールが約半世紀ぶりに「ユダヤ劇場」壁画シリーズと再会
 - ・現存する壁画にそれぞれ署名と年記を記す
- (11) 1985年、マルク・シャガール死去（享年97歳）
- (12) 1989年、ベルリンの壁崩壊
- (13) 1991年、ソ連邦崩壊
 - ・「ユダヤ劇場」がようやく公開されることとなった

(文責 兵庫県立美術館 相良)

映写した作品図版一覧

	作家名	作品名	制作年	所蔵者名	
1	ラファエロ	サン・シストの聖母子	1513-14年	ドレスデン国立美術館蔵	
2	イリヤ・レーピン	パヴェル・トレチャコフの肖像	1883年	トレチャコフ美術館	
3	イリヤ・レーピン	パヴェル・トレチャコフの肖像	1901年	トレチャコフ美術館	
4	マルク・シャガール	酔っぱらい(飲んだくれ)	1910-12年	個人蔵	
5	マルク・シャガール	《酔っぱらい(飲んだくれ)》のための習作	1911年	ボンビドゥー・センター蔵	
6	マルク・シャガール	ロシアとロバとその他のものたちへ	1911年	ボンビドゥー・センター蔵	
7	マルク・シャガール	《詩人》、もしくは《3時半》	1911年	フィラデルフィア美術館蔵	
8	マルク・シャガール	私と村	1911年	ニューヨーク近代美術館蔵	
9	マルク・シャガール	《私と村》のための習作		バーゼル、マルクス・ディーナー・コレクション蔵	
10	カジミール・マレーヴィチ	牛とヴァイオリン	1913年	サンクト・ペテルブルグ、ロシア美術館蔵	
11	カジミール・マレーヴィチ	モスクワのイギリス人	1914年	アムステルダム市立美術館蔵	
12	カジミール・マレーヴィチ	シュプレマティズム:白の上の白	1918年	ニューヨーク近代美術館蔵	
13	マルク・シャガール	「ユダヤ劇場」壁画シリーズより 《ユダヤ劇場への誘い》	1920年	トレチャコフ美術館蔵	※
14	マルク・シャガール	《ユダヤ劇場への誘い》のための習作	1919-20年	ボンビドゥー・センター蔵	
15	マルク・シャガール	祈るユダヤ人(ヴィテプスクのラビ)	1914年	ジュネーヴ、カール・ウント・ユルグ・イム・オベルステク財団コレク	
16	マルク・シャガール	「ユダヤ劇場」壁画シリーズより 《音楽》、《舞踊》、《演劇》、《文学》	1920年	トレチャコフ美術館蔵	※
17	マルク・シャガール	《音楽》のための習作	1918-19年	ボンビドゥー・センター蔵	
18	マルク・シャガール	座るヴァイオリン弾き	1908年	ボンビドゥー・センター蔵	
19	マルク・シャガール	ベンチに座るヴァイオリン弾き (雪中のヴァイオリン弾き)	1914年	個人蔵	
20	マルク・シャガール	ヴァイオリン弾き	1912-13年	アムステルダム市立美術館蔵	
21	マルク・シャガール	《舞踊》のための習作	1920年	ボンビドゥー・センター蔵	
22	マルク・シャガール	《演劇》のための習作	1918-20年	ボンビドゥー・センター蔵	
23	マルク・シャガール	《文学》のための習作	1919年	ボンビドゥー・センター蔵	
24	マルク・シャガール	ロシアの婚礼	1909年	チューリヒ、デュレ財団コレクション蔵	
25	マルク・シャガール	婚礼	1910年	ボンビドゥー・センター蔵	
26	マルク・シャガール	家畜商人	1912年	バーゼル美術館蔵	
27	マルク・シャガール	家畜商人	1912年	個人蔵	
28	マルク・シャガール	家畜商人	1912年	個人蔵	
29	マルク・シャガール	ショーレム・アレイヘム作「マゼル・トブ」の ための舞台装置デザイン	1920年	個人蔵	
30	マルク・シャガール	ショーレム・アレイヘム作「マゼル・トブ」の ための舞台装置デザイン	1920年	個人蔵	
31	マルク・シャガール	祈るユダヤ人(ヴィテプスクのラビ)	1914年	個人蔵	
32	マルク・シャガール	祈るユダヤ人(ヴィテプスクのラビ)	1914年	ヴェネツィア近代美術館蔵	
33	マルク・シャガール	祈るユダヤ人(ヴィテプスクのラビ)	1923年	シカゴ・アート・インスティテュート蔵	
34	マルク・シャガール	家畜商人	1922-23年	ボンビドゥー・センター蔵	
35	マルク・シャガール	緑色のヴァイオリン弾き	1923-24年	ニューヨーク、ソロモン・R・グッゲンハイム美術館蔵	
36	マルク・シャガール	私と村	1924年	フィラデルフィア美術館蔵	
37	マルク・シャガール	《アルルカン》と《サーカス》	1922-44年	ボンビドゥー・センター蔵	
38	マルク・シャガール	踊り子	1940年頃	ボンビドゥー・センター蔵	
39	イサーク・プロドスキー	クレムリンの前のウラディーミル・レーニン	1924年	モスクワ歴史博物館・レーニン博物館部門蔵	
40	アレクサンドル・ゲラシモフ	雨上がりのクレムリン内のスターリンと ヴォロシロフ	1938年	トレチャコフ美術館蔵	
41	カジミール・マレーヴィチ	黒の方形	1929年	トレチャコフ美術館蔵	
42	カジミール・マレーヴィチ	赤い棒を持つ女	1932-33年	トレチャコフ美術館蔵	
43	マルク・シャガール	緑衣のペラ	1934-35年	アムステルダム市立美術館蔵	
44	カジミール・マレーヴィチ	ウオの肖像	1932年頃	ストックホルム近代美術館蔵	
45	マルク・シャガール	パリ・オペラ座の天井画	1964年	パリ、オペラ座蔵	

- ※印の作品は、今回の「シャガール展 色彩の詩人」出品作品です。
- 映写リストと映写の順序は必ずしも一致していません。ご了承ください。

シャガール展 人の詩の色彩

2008年9月6日(土) - 10月15日(水)

休館日/月曜日(ただし月曜日が祝日の場合は開館・翌火曜日休館)

特別開館日/9月22日(月)、10月14日(火)

開館時間/午前10時 - 午後6時

(金・土曜日は夜間開館・午後8時まで)

入場は閉館30分前まで

ロシアとフランスから、珠玉の名作が約150点。
渾身の大作「ユダヤ劇場」大壁画
全7点を一挙大公開！



主催
兵庫県立美術館
産経新聞社
神戸新聞社
後援
外務省
文化庁
ロシア連邦大使館
フランス大使館
兵庫県
兵庫県教育委員会
神戸市
神戸市教育委員会
財団法人伊藤文化財団
サンケイスポーツ
夕刊フジ
サンケイリビング新聞社
関西テレビ放送
サンテレビジョン
ラジオ大阪
ラジオ関西
FM802
Kiss-FM KOBE
特別協賛
大和ハウス工業株式会社
協力
日本航空

「ユダヤ劇場」1927年 個人蔵
©ADAGP Paris & SPDA Tokyo 2008

 **兵庫県立美術館**
HYOGO PREFECTURAL MUSEUM OF ART
〒651-0073 神戸市中央区鶴浜海岸通 1-1-1 [HAT 神戸内]
Tel.078-262-0901 <http://www.artm.pref.hyogo.jp>

シャガール展

Marc Chagall の a poet of colors

色 彩 詩 人

ロシア（現在のベラルーシ）生まれで後年フランスを中心に活躍した 20 世紀最大の巨匠のひとり、マルク・シャガール（1887-1985）は、ロシア革命やふたつの世界大戦といった激動の時代を生きる中で、ユダヤ人としての自己を見つめ、また妻や家族の愛に満たされながら、その長い生涯にわたって、さまざまな技法により数多くの作品を手がけてきました。郷愁と詩情にあふれたそれらの作品は、いまなお私たちの心をとらえて離しません。

この展覧会は、モスクワにあるロシア国立トレチャコフ美術館とパリのシャガール家の全面的な協力を得て開催します。シャガールの画業の初期の集大成ともいえる壁画大作「ユダヤ劇場」全 7 点をはじめ、初期から晩年にわたって制作された絵画、版画、タペストリーなど約 150 点の作品で構成します。

観覧料：一般 1,300(1,100)円 大・高生 900(700)円 中・小生 500(300)円

() 内は前売り料金および 20 名以上の団体割引料金/兵庫県内在住・在学中の小生はコロンカードの提示により無料/障害のある方とその介護の方(1名)、および兵庫県内在住の 65 歳以上の方は、当日料金の半額/コレクション展の観覧には別途観覧料が必要(本展とあわせて観覧される場合は割引あり) ■前売り券発売場所:チケットぴあ(Pコード:688-276)、ローソンチケット(Lコード:58380) ほか京阪神の主要駅、主要プレイガイド

関連事業

□記念コンサート

「シャガールの調べ

—ヴァイオリンとピアノで綴る詩情の世界—

9月7日④ 午後2時～[約90分]

当館ギャラリーにて[定員250名]

出演者:林 晶彦(作曲・ピアノ)・金関 環(ヴァイオリン)

※賞券無料(事前に往復ハガキでの応募が必要となります)

詳しくはコンサートチラシ、もしくは当館ホームページなどを

ご覧ください

未就学児童・乳幼児につきましてはご応募・ご入場とも

□記念講演会

「シャガールはなぜ七本指なのか?

—ユダヤ文化論の窓から見た

マルク・シャガールの世界—

9月28日④ 午後2時～[約90分]

当館ミュージアムホールにて[定員250名]

講師:角 伸明

(大阪大学・関西大学講師、ロシア文学・東方ユダヤ文化論専攻)

聴講無料(聴講には観覧券の半券が必要です)

□解説会

○学芸員による解説会

会期中の毎週土曜日 午後5時～[約30分]

○ミュージアム・ボランティアによる解説会

会期中の毎週日曜日 午前11時～[約15分]

○シャガール展 およこ解説会

9月27日④ 午後1時30分～[約30分]

10月11日④ 午後1時30分～[約30分]

いずれも当館レクチャールームにて[定員100名]

聴講無料

□こどものイベント

○シャガールさんのひみつその①

9月20日④ 午後1時30分～

○シャガールさんのひみつその②

9月21日④ 午前10時30分～

いずれも要申し込み・別途参加費が必要です

詳しくは078-262-0908(こどものイベント係)へ

お問い合わせください

□映画上映会

9月12日④ 泉美シネマクラシック

「シャガール：ロシアとロバとその他のものに」

当館ミュージアムホールにて[定員250名]

入場料が必要です

□シャガール展記念メニュー

●シャガール・デイ

シャガール展会期中の開館日

シャガールのふるさとロシアにちなんだメニューをご用意

●シャガール・ナイト

9月15日④～9月30日④の期間の開館日

シャガール展特製カクテルなどをご用意

場所はいずれも美術館1階カフェ「フォルテシモ」にて



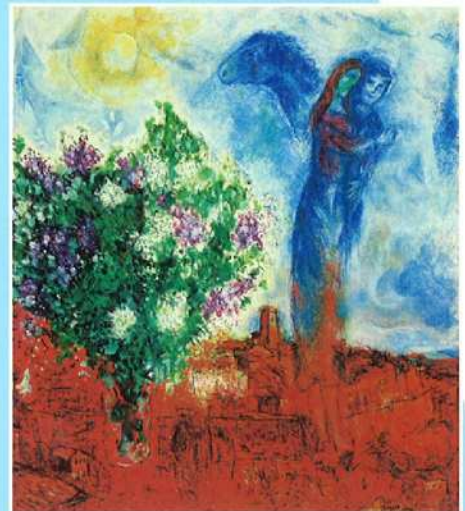
「ユダヤ劇場」壁画シリーズより《音楽》
1920年 トレチャコフ美術館蔵



「ユダヤ劇場」壁画シリーズより《ユダヤ劇場への誘い》1920年 トレチャコフ美術館蔵



《青い翼の振り子時計》1949年 個人蔵



《サンボールの上の恋人たち》1970-71年 個人蔵



「死せる魂」より《ゴッロとシャガール》
1923-27年 トレチャコフ美術館蔵



《ダヴィッド》1914年 個人蔵



交通案内: □阪神岩屋駅から南に徒歩約8分 □JR神戸線灘駅南口から南に徒歩約10分 □阪急神戸線王子公園駅西口から南西に徒歩約20分 □JR三ノ宮駅南から阪神バス、神戸市営バスで県立美術館前下車 □地下駐車場(乗用車80台収容・有料) ※ご来館はなるべく電車・バスをご利用ください。※団体バスでお越しの場合は、バス待機所のご予約をお願いします。

